

2015年3月22日

第28回再処理・リサイクル部会 全体会議 議 事

- 1. 部会長挨拶**
- 2. 平成26年度 再処理・リサイクル部会 部会賞贈呈式**
- 3. 2014年度活動報告**
- 4. 2014年度予算報告**
- 5. 2015年度活動計画**
- 6. 2015年度予算計画**
- 7. 部会賞表彰内規の改定**
- 8. 再処理・リサイクル部会セッション**
- 9. 運営小委員会改選結果と体制(2015.4.1以降)**

1. 部会長挨拶

再処理・リサイクル部会

井上 正 部会長(電中研)

2. 第10回再処理・リサイクル部会 部会賞贈呈式

優秀講演賞(2件)

1)ジルコニウムの硝酸中における γ 線照射環境下での
放射線分解水素吸収挙動

(独)日本原子力研究開発機構 石島 暖大 様

2)海水環境を想定したタンニン吸着材に対する炭酸ウラニル錯体の
吸着機構に関する研究

東京工業大学 渡邊 達樹 様(発表時、現原子力規制庁)

なお、優秀講演賞2)については、表彰委員会委員長の池田泰久氏が共同研究者であったため、委員長以外の委員による表彰小委員会での審議を経て、再処理・リサイクル部会部会長の井上正氏が決定した。

3. 2014年度活動報告：全体

- (1) 4月 拡大運営小委員会・・・平成26年度活動・予算計画 他
- (2) 7月 拡大運営小委員会・・・ぎんぎんセミナー準備 他
- (3) 8月 拡大運営小委員会・・・SA研究WG報告 他
- (4) 8月 第6回ぎんぎんセミナー
- (5) 9月9日 第27回部会全体会議(京都大)
- (6) 10月 拡大運営小委員会・・・ぎんぎんセミナー報告、部会セミナー準備 他
- (7) 11月9～12日 ANUP(韓国、済州島)
- (8) 1月 第10回再処理・リサイクル部会セミナー
- (9) 2月 拡大運営小委員会・・・全体会議準備、部会セミナー報告 他
- (10) 2月 平成26年度 再処理リサイクル部会 部会賞決定
- (11) 3月22日 第28回部会全体会議(茨城大)
- (12) その他 課題議論WG、SA研究WG、テキスト作成WG
- (13) その他 クリーンアップ分科会に部会メンバー参加

3. 2014年度活動報告：トピックス(その1)

(1) 第10回再処理・リサイクル部会セミナー：2015年1月16日

- ・テーマ：これからの再処理技術
- ・参加者：約85名、ポスター出展12件
- ・今回のセミナーでは国内の再処理関連技術の動向や
新型ガラス溶融炉のモックアップ試験について紹介するとともに、
これからの再処理技術の方向性についてそれぞれの専門家を招き
講演を行った。

また、核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究WG及び
テキスト作成WGの活動について報告した。



3. 2014年度活動報告：トピックス(その1)

(2) 課題議論WG

課題議論WGでは、現在の日本の再処理あるいはもっと大きな視点で核燃料サイクルが抱える課題を明確にすると共に再処理あるいは核燃料サイクルのあるべき姿を議論し、学会として社会に提言すべく活動を行っている。

第4回の検討会では、KJ法を用いて、再処理技術の課題を整理し、グループ化した。その結果、個別の課題は、いくつかの大きな課題に分けることが出来ることを明らかにした。

第5回の検討会では、整理した課題群の間の関係を議論し、種々の課題が発生する原因となる根本的な課題、あるいは最初に解決すべき課題について議論を行った。

検討の結果、様々な再処理の問題の最も根本的な問題は、再処理技術のミッションが明確でないか、あるいは時代要請に必ずしも応えるものではなくなっているのではないかという結論に達し、再処理部会あるいは原子力学会として「再処理のミッション再定義」を行い、社会の要請に応えると共に夢のある再処理技術のミッションを社会に発信するべきであるとの結論を得た。

3. 2014年度活動報告：トピックス(その2)

(2) SA研究WG

- 福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえて、核燃料サイクル施設の科学的合理性に基づく安全性向上に役立てることを目的とし、SA研究WGを平成25年4月に設置し、平成26年9月に第1フェーズの活動を終了した。
- 第1フェーズの成果を「核燃料サイクル施設における対応を検討すべきシビアデントの選定方法と課題」と題して部会HP上に公表するとともに、その概要を解説記事にして平成27年1月に原子力学会員誌ATOMO Σに投稿した(5月号掲載予定)。
- 第1フェーズで抽出された課題を検討すべく、平成27年4月より第2フェーズとして、再処理施設で発生が想定し得る事故の影響評価方法に関する現状整理、課題の把握及び解決方法について、客観的かつ専門的視点から検討を開始する。

3. 2014年度活動報告：トピックス(その3)

(3) テキスト作成WG

- ・趣旨： 燃料サイクルに関するテキストは既にいくつかあるが学会として情報発信したものがないことから、学会という中立・公正な立場で燃料サイクルに関する最新の技術の解説を主としたテキストを作成する。

Phase IIに引き続き、核燃料サイクルの技術の詳細及び最近の技術動向を網羅したPhase IIを作成する。

- ・作成状況： 完成した項目から順次公開。(Phase II: 1-5, 7, 8, 10、6-7, 8及び 8-4を公開済)

≪核燃料テキストは、再処理・リサイクル部会のHP

(<http://www.aesj.or.jp/~recycle/top.html>)にて公開中≫

(4) クリーンアップ分科会での活動

① JA南相馬の協力のもと稲作試験を継続(土壌の性質及びCs移行挙動の把握)

- ・ 4月30日、5月13日、8月5日：サンプリング
- ・ 9月20日：稲刈り前サンプリング
- ・ 10月20日：脱穀作業(サンプリング)

② 除染情報プラザへの専門家派遣継続(除染アドバイザーとして派遣)

- ・毎週末に1名駐在(延べ 462名; 3月1日現在)

4. 2014年度予算報告

	項目	予算計画 (円)	予算実績 (円)	内 訳
収入の部	収入			
	一般正味財産			
	1. 本部予算 (配分金)	250,000	250,000	
	2. 独自事業予算	1,500,000	663,500	部会セミナー、ぎんぎんセミナー参加費
	指定正味財産			
	3. 繰越金取崩 収入	2,438,000	1,142,491	余剰繰越金から
	収 支 計	4,188,000	2,055,991	
支出の部	支出			
	1. 本部予算 (配分金)			
	・ 会議費	0	0	
	・ 旅費交通費	2,140,000	652,820	福島特別PJ活動旅費、課題議論WG・SA研究WG委員旅費
	・ 通信運搬費	3,000	360	宅急便
	・ 諸謝金	540,000	540,000	燃料サイクルテキスト執筆謝礼 (一部)
	・ その他 (上記以外)	50,000	47,600	部会賞副賞
		2,733,000	1,240,780	
	2. 独自事業予算			
	・ 会議費	700,000	466,851	部会セミナー・ぎんぎんセミナー
	・ 旅費交通費	300,000	288,050	ぎんぎんセミナー学生旅費補助
	・ 通信運搬費	15,000	360	宅急便
	・ 消耗品費	15,000	570	
	・ 一般外注経費	340,000	0	福島特別PJ活動旅費・テキスト作成執筆謝礼 (一部)
	・ 出展費	0	21,600	セミナーマイクロバス
	・ 諸謝金	60,000	22,620	セミナー講師謝金など
	・ その他 (上記以外)	25,000	15,160	セミナーポスター賞副賞、振込手数料
	・ 本部回収額	0	0	
		1,455,000	815,211	
	支 出 計	4,188,000	2,055,991	
	本部予算収支戻	-2,483,000	-990,780	
	独自事業予算収支戻	45,000	-151,711	
	2014年度予算収支戻	0	0	
	H27年度への繰越金 (指定正味財産)		10,418,473	

5. 2015年度活動計画：全体

- (1) 4月 拡大運営小委員会・・・平成27年度活動・予算計画 他
- (2) 7月 拡大運営小委員会・・・ぎんぎんセミナー準備 他
- (3) 7月または9月 第7回ぎんぎんセミナー
- (4) 9月 拡大運営小委員会・・・ぎんぎんセミナー報告、
再処理・リサイクル部会セミナー準備 他
- (5) 9月9～11日 第29回部会全体会議(静岡大)
- (6) 9月20～24日 GLOBAL2015(仏国、パリ)
- (7) 12月頃 第11回再処理・リサイクル部会セミナー
- (8) 12月 拡大運営小委員会・・・活動/予算(H27実績とH28計画)、
- (9) 2月 拡大運営小委員会・・・全体会議準備、部会セミナー報告 他
- (10) 2月 平成27年度 再処理リサイクル部会 部会賞決定
- (11) 3月26～28日 第30回部会全体会議(東北大)
- (12) その他 課題議論WG、SA研究WG、テキスト作成WG
- (13) その他 クリーンアップ分科会に部会メンバー参加

《参考》2016年10月(予定) ANUP2016(日本)

5. 2015年度活動計画：トピックス

(1) 第7回ぎんぎんセミナー：7月末または9月末

- ・テーマ：未定
- ・場 所：青森原燃テクノロジーセンター（予定）
- ・プログラム：未定
- ・大学関係者の皆様には、学生の参加を勧奨いただくようお願いする。
（部会から交通費を助成する）

(2) 第11回再処理・リサイクル部会セミナー：12月予定

- ・テーマ：未定
- ・場 所：東京都内（予定）
- ・プログラム：未定
- ・大学関係者の皆様には、学生の参加を勧奨いただくようお願いする。
（部会から交通費を助成する）

6. 2015年度予算計画

	項目	予算 (円)	2014年度 (円)	比較増減 (円)	内 訳
収入の部	収入				
	一般正味財産				
	1. 本部予算 (配分金)	250,000	250,000	0	
	2. 独自事業予算	1,500,000	1,500,000	0	部会セミナー、ぎんぎんセミナー参加費
	指定正味財産				
	3. 繰越金取崩 収入	2,840,000	2,438,000	402,000	余剰繰越金から
	収 支 計	4,590,000	4,188,000	402,000	
支出の部	支出				
	1. 本部予算 (配分金)				
	・ 会議費	0	0	0	
	・ 旅費交通費	2,550,000	2,140,000	410,000	企画セッション講師旅費、福島特別PJ活動旅費、GLOBAL渡航費補助、課題議論WG・SA研究WG・ANUP2016準備委員会委員旅費
	・ 通信運搬費	3,000	3,000	0	切手、宅急便
	・ 諸謝金	485,000	540,000	-55,000	燃料サイクルテキスト(phase2)執筆謝礼(50万)、企画セッション講師謝金
	・ その他 (上記以外)	52,000	50,000	2,000	部会賞副賞
		3,090,000	2,733,000	357,000	
	2. 独自事業予算				
	・ 会議費	700,000	700,000	0	部会セミナー・ぎんぎんセミナー (会場費等)
	・ 旅費交通費	350,000	300,000	50,000	部会セミナー講師旅費、ぎんぎんセミナー学生旅費補助、WG委員旅費
	・ 通信運搬費	20,000	15,000	5,000	宅急便・郵便
	・ 消耗品費	20,000	15,000	5,000	事務用品
	・ 一般外注経費	320,000	340,000	-20,000	セミナーテキスト作成費、マイクロバス
	・ 出展費	0	0	0	
	・ 諸謝金	60,000	60,000	0	セミナー講師謝礼
	・ その他 (上記以外)	30,000	25,000	5,000	セミナー副賞、講師・スタッフ弁当、振込手数料
	・ 本部回収額	0	0	0	
		1,500,000	1,455,000	45,000	
	支 出 計	4,590,000	4,188,000	402,000	
	本部予算収支尻	-2,840,000	-2,483,000		
	独自事業予算収支尻	0	45,000		
	予算収支尻	0	0	0	
2017年度への繰越金 (指定正味財産)		7,578,473			2014年度の¥10,418,473から本年度取崩¥2,840,000を引いた額

7. 部会賞表彰内規の改定について

再処理・リサイクル部会 部会賞表彰内規のうち選考手順について、選考手順の明確化および表彰対象範囲の拡大を目的として、条文の改定を行う。

1. 現在の内規

(選考手順)第5条 部会賞選考手順については以下に定める。

5 表彰小委員会に推薦されたそれぞれの受賞候補者について、表彰小委員会委員の意見を参考にして評価する。ただし、受賞候補者および推薦者は表彰小委員会委員になることはできない。

2. 改定案

(選考手順)第5条 部会賞選考手順については以下に定める。

5 表彰小委員会に推薦されたそれぞれの受賞候補者について、表彰小委員会で審議し、表彰委員長が選考する。ただし、受賞候補者および推薦者は表彰小委員会委員になることはできない。表彰小委員会委員長および表彰小委員会委員が受賞候補者の共同研究者の場合、部会長が該当者を代行する。

8. 再処理・リサイクル部会セッション

「核燃料サイクル施設におけるガラス固化技術の
確立について」

(3月22日(日) 13:00～14:30、A会場)

座長(JST) 藤田 玲子

1. 六ヶ所再処理工場におけるガラス固化試験
の結果について

(日本原燃) 大久保 哲朗様

2. 新型ガラス溶融炉の開発状況について

(日本原燃) 兼平 憲男様

3. 総合討論

9. 運営小委員会改選結果と体制(2015.4.1以降)

部会長:	藤田 玲子	(JST)	
副部会長:	森田 泰治	(原子力機構)	分担
運営委員:	渡邊 大輔	(日立)	庶務
	津幡 靖宏	(原子力機構) . . .	庶務
	佐藤 聡	(三菱重工)	会計
	塚原 剛彦	(東工大)	会計
	木地 俊太	(関電)	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	飯塚 政利	(電中研)	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	稲垣 八穂広	(九大)	企画(国際WS、ぎんぎんセミナー)
	太田 和明	(三菱マテリアル) .	企画(部会セミナー、国際WS)
	岡村 信生	(原子力機構) . .	企画(ぎんぎんセミナー、部会セミナー、部会HP)
	澤田 佳代	(名大)	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	鷹尾 康一郎	(東工大)	企画(学会企画セッション、ぎんぎんセミナー)
	大西 貴士	(原子力機構) . .	広報(ぎんぎんセミナー、部会セミナー)
	立花 武憲	(日本原燃)	広報(部会セミナー、ぎんぎんセミナー)
	佐藤 修彰	(東北大)	広報(国際WS、学会企画セッション)
	大村 恒雄	(東芝)	広報(学会企画セッション、国際WS)
	中熊 哲弘	(東電)	広報(六ヶ所情報、部会セミナー)
	齋藤 巖	(日本原燃)	広報(六ヶ所情報、部会セミナー)
	野上 雅伸	(近畿大)	広報(学会企画セッション)
	日山 伸行	(原燃工)	広報(部会セミナー、国際WS)

顧問: 竹内哲夫(元原子力委員会)、近藤駿介(元原子力委員長)、田中知(原子力規制委員会)、井上正(電中研)

参与: 野村茂雄、小山智造、峯尾英章、天野治、駒義和、藤田雄二、松村達郎、小泉務、小山真一、加瀬健、梅田幹(JAEA)、鈴木一弘、鈴木一雄、富田邦裕、向原進、徳森律朗、山澤正俊(東電)、子安徹人、赤澤孝(関電)、西村友宏(電中研)、池田泰久(東工大)、松本史朗(JNES)、田辺哲朗(九大)、山名元、白井理(京大)、山村力(東北大)、浅沼徳子(東海大)、鈴木達也(長岡技大)、倉重有幸(原燃工)、半沢正利、大場一鋭、染谷浩(MMC)、有田裕二(福井大)、森行秀、黒田一彦(MHI)、深澤哲生、星野国義、鴨志田守(日立GE)、山田和矢、多賀純一(東芝)、中村裕行、加納正規(JNFL)、波多野守